第 69 回　原子力損害賠償・廃炉等支援機構　廃炉等技術委員会　議事要旨

日時：2026 年 9 月 24 日(木) 15:00～17:00
場所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構　会議室及びオンライン

1．廃炉への取組状況について

東京電力より 1 号機使用済み燃料取り出しに向けたオペフロガレキ撤去作業の開始、 2 号機使用済み燃料取り出し作業の進捗について、2 号機 PCV 内部調査・試験的取り出し作業の状況、3 号機 PCV 内気中部内部調査(マイクロドローン調査)について、増設雑固体廃棄物焼却設備施設復旧に向けた進捗状況について説明があった。

2．技術戦略プラン2026について

機構から技術戦略プラン 2026 本文案について、前回の議論を踏まえて主に前回からの変更箇所について説明を行った。

廃炉等技術委員からの主な意見は以下のとおり(表現等についての意見は記載略)。

○原子力規制委員会のリスク低減目標マップとの整合性を踏まえた上で、2033 年の「実現すべき姿」を技術戦略プランでも重要なマイルストーンとして捉え、現状の進捗状況や課題を来年の文書に取り込む様にしたら良いのではないか。
○廃棄物ストリームの添付資料について、色分けや記載内容の読み取り方が分かりにくく、燃料デブリ取り出しに伴う廃棄物の扱いも含め、今後さらに分かりやすい整理が必要。
○地域創生やスタートアップ支援に関連し、福島イノベーション・コースト構想推進機構の「Fukushima Tech Create」ではドローン・ロボット等に取り組む若者がいるため、東京電力にも成果報告会等に参加し、若い人材・技術に接して欲しい。

委員からの意見を踏まえた修正については、委員長に一任の上、技術戦略プラン 2026 を策定・公表することについて同意された。

3．廃炉等積立金の取戻しに関する計画の作成方針について

機構から、廃炉等積立金の取戻しに関する計画の作成方針(以下「取戻し計画の作成方針」という。)案として、廃炉等積立金の取戻しに関する計画を作成するにあたり、昨年度からの主な変更点を中心に説明した。

委員長に一任の上、取戻し計画の作成方針を東京電力に提示することについて同意がされた。

以上